



当院の救急体制は「ERおおつ」を標榜し早期よりER型救急を運営してきました。ER型救急は一次から三次まで重症度に関係なく受け入れ、全科的治療協力体制の

診療部長 福井 道彦

救急診療科・集中治療部の紹介



と早期に最終段階の治療導入を目指す体制です。最近、ER型救急も認知が進み業務内容も充実してきたように感じています。さらなる救急診療の向上を目指して院内外の高度な連携をお願いします。
当科の診療体制の特徴であるICUとの一体運営の結果、年間約2万症例をER診察し、その内約200症例をICUに直接収容しております。最重症のいわゆる三次救急症例も円滑に治療継続できる体制を今後とも充実させて地域の役割を果たしたいと考えております。いっそうのご協力お願い申し上げます。

NST勉強会のご案内

- 7月 8日 皮膚科:水谷 浩美
褥瘡患者の栄養療法
- 7月22日 リハビリテーション部 嚙下リハビリテーション
栄養部 嚙下訓練食・濃厚流動食

- * 時間: 17時30分～19時
- * 筆記用具・電卓をご持参下さい

公開講座のご案内

- 7月23日 (株)素敬 上野 宗則 看取りのころ

- * 時間: 上記と同じ

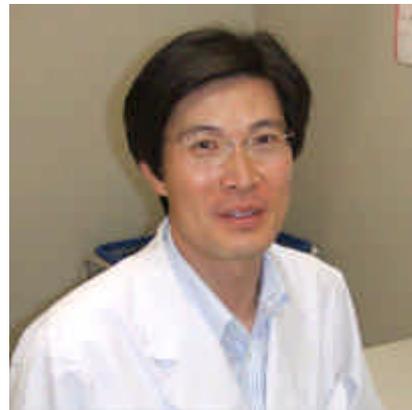
健康講座のご案内

- 7月15日 消化器科:高見 史朗
メタボリックシンドロームと肝疾患

- * 時間: 17時30分～18時30分
- 場所はすべて9階会議室です

緩和ケア科の紹介

診療部長 津田 真



当科の外来では、苦痛症状を丁寧に診察し、必要な薬物治療や対応を一緒に考えています。他科や別

の医療機関で抗がん治療を受けながら緩和ケア外来にいられている患者様にご家族もおられ、そういう方はこちらとの信頼関係が出来ているので、入院が必要になっても不安が少なく、安心して療養していただけるように思います。

緩和ケア病棟は、落ち着いた明るい病棟で、専門スタッフが24時間対応をしています。

音楽療法やアロマセラピーなどを取り入れ、心地良く過ごしていただける体制をとっています。必要な患者様がおられましたら、早い段階から、緩和ケア外来にご紹介いただければと思っております。



緩和ケア病棟 看護ステーション